

・ 水虫の正体

水虫とは、足の裏や足の指の間、手のひらに「カビ」が寄生して起こる病気のことです。

水虫は皮膚の角質の中に含まれるタンパク質を栄養源としているため、足などの角質層が多いところは「すみか」にするには最適なのです。

・ 水虫はうつるの？

水虫はうつります。家族の中に水虫患者がいると感染の危険があります。バスマットやじゅうたん、スリッパなどが感染経路です。さらに皮膚に傷があると感染しやすくなります。

・ 感染を防ぐには…

不特定多数の人が使用するスリッパ、サンダルなどの履物を履いた後や、浴場、サウナなどのマットに足が触れた後は気をつけましょう。

水虫の菌が住んでいる皮膚の角質は、ほこりや汗などと一緒になり「アカ」となって剥がれ落ちます。掃除を心がけ、足をよく洗い、水虫の菌をつけたままにしないようにしましょう。また、高温多湿を好みますので、靴や靴下で長時間蒸れるような状態は避けるようにしましょう。

・ 治療法

薬を塗る上で一番大切なことは、毎日根気よく薬を塗り続けることです。水虫菌が少しでも残っていると、次の年に再発の可能性があるため、症状が無くなっても1ヶ月以上は塗り続けることが大切です。また、症状のある部分以外にも水虫の菌が潜んでいることもありますので、患部だけでなくその周りの広範囲に塗りましょう。効果的なのは、お風呂あがりに塗ることです。入浴後は皮膚がふやけて薬の成分が浸透しやすいのです。

クリーム	皮膚へよく浸透するため、もっともよく使われます。
液 (ローション)	アルコールを使用した液剤は乾きやすく、スツキリとした使用感が好まれます。しかし、ジुकジुकタイプや皮膚に傷のあるタイプには刺激があるため不適です。
軟膏	クリーム剤よりもベトベトするために使用感がよくありませんが、刺激が少ないために皮膚が切れて痛みがある場合に使用できます。

